

POMA イベント紹介



「アートクラフト・ガーデン」
3月21日（土曜日）
千代田区にある3331 アーツ千代田という旧練成中学校を利用して誕生したアートセンターで行われたイベントにて販売をしました。
会場は、教室1つ分ぐらいの広さに20団体以上の方々が参加していました。
それぞれに「個性」のある商品が多く、良い刺激となるイベントでした。

「ウェルフェア・トレードマーケット」

3月29日（日曜日）
昨年に引き続き、「共に生きる」をテーマにした原宿の代々木公園で行われたイベントにて販売をしました。
ポーチや陶芸品などの自主生産品とパン工房で製造した菓子パンや焼き菓子は昨年同様に大人気でした！！
この日の為に準備したガーリックラスクも多くのお客様が買ってくださいました。
今後も参加させていただき、交流を図っていきたいイベントでした。



「アール・ブリュット アート・日本2」
2月21日（土曜日）～3月22日（日曜日）
の1か月間にわたって滋賀県で行われたアートイベントでは、3階のご利用者さまの山本恵美様と菅原康匡様の2人の方が描いた作品が見事入選を果たしました！！
全国の方々に見ていただけた、とても貴重なイベントでした。



☆POMAホームページアドレス☆
<http://po-ma.jimdo.com>
〒177-0051
東京都練馬区関町北5-7-10
電話番号
03 (3928) 3315
FAX 番号
03 (3928) 3310
Email
yasuragi.mori@gol.com

社会福祉法人 章佑会
障害者支援施設 やすらぎの杜

第29号 発行日
平成 27年 4月 17日

杜の便り

新年度のご挨拶

章佑会 やすらぎの杜
施設長 馬場八重子



「若い力・柔らかい心に期待します」

四月一日、やすらぎの杜は満開の桜に囲まれて新規職員七名と新たに社会人になられた通所の御利用さま八名が喜びと希望を胸に抱いての入社式が行われました。

いよいよ二七年度のスタートです！

新社会人の御利用者さまは、社会人としての自覚になって頑張ろうとする気迫が漂っており、とても頼もしく、又、いじらしいです。

次に新規職員は「あらゆる人に生きる夢と勇気と希望を提供する」法人理念の中によくぞ飛び込んで来て下さいました。これからは杜の職員として先輩職員と力を合わせて御利用者さまは勿論、あらゆる人から教えて頂き、自分と向き合いながら、内省の心を持って頑張ってください。

この四月に、介護報酬のマイナス改定がありました。福祉の分野では大変な問題ですが、単純に一喜一憂するのではなく、今こそ日本の社会保障制度がどうなるべきか腰を据えてじっくり考える時だと思います。

この様な中、社会福祉法人は自ら改革に取り組んでいかなければなりません。国民の理解の得られる近代化、改革をしていかなければならないのです。

法人は自発的、積極的に地域社会に繰り出して全ての人が「幸」に暮らせることの出来る安心を提供できる存在になる必要があります。

そのためには法人の役職員は一丸となって努力していかなければなりません。

そのためにも若い力と柔らかな心の持ち主の職員の奮起に期待しています。

力を合わせて共に歩んでいきましょう。

新しい仲間を紹介します

平成27年度4月からやすらぎの杜に新たに5名の仲間が加わりました。
また年度途中から利用の方も合わせてご紹介いたします！みなさん仲良くしてください！



おやま ももか
尾山 桃花さん
料理、ダンスもとくいで
す。これからもよろしく
おねがいします。

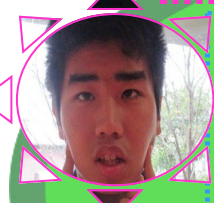
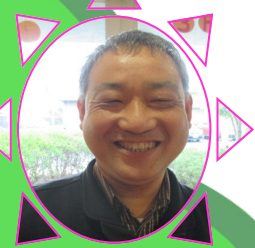


おんだ さちこ
恩田 幸子さん
「お著上手なの！
ありがとう！！」

おかだ ゆきお
岡田 由起夫さん
はし入れをがんばりたい。
よろしくお願 います。



こうの ゆういち
河野 裕一さん
がんばります。
よろしくお願 います。
好きな物…プロ野球・お寿司



ながみ そう
永見 奏さん
好きなもの…電車、自転車に乗る
こと、音楽鑑賞（タンゴなど）
好きな食べ物…焼きそば、イチゴ、
スイカなど

よこた りか
横田 里佳さん
お友達をたくさん作りたいです。調
理が大好きで土日は家で料理し
ます。クマのプーさん、お兄
ちゃん（誠）も大好きです。



おちあい よしたけ
落合 良雄さん
社会人になりました。魚座・O型
好きな食べ物…うどん、煮物、ホルモン
好きな曲…はがゆい唇
よろしくお願 います。



よこた まこと
横田 誠さん
皆さん仲良くして下さい。
電車（特に西武）や野球、
妹（里佳）が大好きです。



いとう ひとみ
伊藤 仁美さん
歌と電車が大好きです。ゆいレール（沖縄）
が一番好きです。学校を卒業して7年目に
なります。よろしくお願 います。



皆さんよろしくお願 います☆

平成27年度 新人職員紹介

つじ あゆみ
2階 辻 ありみ



たかはし けいたろう
2階 高橋 溪太郎



ながしま ゆうき
2階 長嶋 有紀



こばやし ももこ
2階 小林 桃子



たかの まなみ
通所 高野 愛月



すどう しほ
3階 須藤 志穂



すずき まりこ
3階 鈴木 万里子



職員研修報告

やすらぎの杜における職員研修の実施状況についてお伝えします。

職員研修とは…？

大きく分けて①OJT(職場の上司による後輩の育成、組織性の向上)、②OFFJT(施設外研修、職員の向上)、③SDS(自己啓発)の3体系にわかれています。やすらぎの杜では専門知識・支援向上のために、職員研修を重要視しています。その研修の一部をご紹介します。

(1)社会福祉協議会の主催による外部研修

・サービス管理責任者研修…ご利用者様のアセスメント支援計画の作成、モニタリング等を行い、一連のサービス提供プロセス全般に関する責任を負うことにより、サービスの質の向上を図る専門職を育成するものです。やすらぎの杜からも多くの職員がこの研修に参加しています。

・相談支援専門員研修…さまざまな障害を持つ方の相談に応じ、助言や連絡・調整等の必要な支援を行うほか、サービス利用計画を作成する等の役割を担う専門職を育成する研修です。今後の相談支援員の成長・活躍が期待されています。

・障害者虐待防止、権利擁護に関する研修…2014年1月20日に日本はようやく、障害者権利条約を批准しました。この条約では障害のある方たちが社会のあらゆる場面で他の方たちと平等に社会参加するうえで、合理的配慮を提供されなければならない、合理的配慮を拒否されることが差別であるとされています。「合理的配慮」とは、“障害特性に応じた支援と環境を提供すること”です。例えば、講演会にて聴覚障害者で手話が必要な人へ、手話がでる人を提供すること。拒否することは、過度な負担ではないのに、それを提供しないことです。研修で学んだことを活かし、やすらぎの杜では虐待防止委員会を設置して施設内での研修を行い、虐待防止の啓発に取り組んでいます。

(2)消防署員による救急救命講習

救命講習とは、突然の病気で心臓がとまって倒れた人や、大ケガをして大出血をしている人を見つけた時、救急車が到着するまでの間、その人の命をつなぎとめるための応急手当の方法を身につける講習です。病気やケガで心臓が止まると、約4分で脳の細胞が死んでしまうといわれます。すぐに119番をかけて救急車を呼んでも、救急車が到着するまで平均約6分かかると言われています。そのためすぐに心肺蘇生法などの応急手当をはじめなければ命を救うことがむずかしくなります。大切な命を救うためには「早い通報！⇒早い心肺蘇生法！⇒早い除細動！⇒早い医療処置！」が必要です。この一連の流れを『救命の連鎖』と呼ぶそうです。

やすらぎの杜では定期的に消防隊の方に来所して頂き、モデルの人形を使って実際にAEDの使用法や人工呼吸の仕方などを教えて頂いています。

(3)企業による研修

大手化学メーカーである、花王株式会社さんによる研修を過去2回行っています。

・感染症対策講習
実際に施設内を見ていただき、衛生面においてどこを重点的に清掃・改善した方が良いか確認して頂きました。菌は殺菌しても2時間で元に戻ってしまうので菌がつきやすい汚れを取り除くことが重要であること、塩素系のハイターなどでは菌の温床になる汚れには効果がない等、今までの認識を改めさせられました。

・紙おむつ、リハビリパンツ等の講習
おむつやパット、リハビリパンツの正しい装着方法を学びました。正しく装着することで今までより効果的に使うことが出来ると、改めて実感できました。その後、フロア内でも実践・検討し、実際に尿漏れ（横漏れ）の心配が無くなった方や、容量の大きいパットに変更することで夜間の快眠度が上がった方などもおり、実りある講習となりました。

(4)新人職員研修

毎年春に施設内で新人職員に向けて研修を行っています。職員として、社会人として、基本になる、挨拶、電話の受け答えや、やすらぎの杜の職員としての心得を始め、働く上で必要なことを指導していきます。

(5)その他の研修

これら以外にも、個別に外部の研修へ赴いたり、資格取得のために個人的に勉強している職員もいます。パン製造における新メニュー開発の研修や、利用者の工賃アップのための研修などにも参加し、日々の支援に役立っています。

今後は…OJTに力を入れていきたいと思っています。

OJT(On the Job Training)とは

…施設管理者や先輩職員が、職務遂行を通して、「①組織メンバーとして成長するための布石、②仕事に必要な知識や技能、取り組む姿勢、③仕事をするための価値や達成感」等々を、後輩職員にどう効果的かつ有効的に身につけさせるか、意識的に取り組む育成・指導の活動のことです。OJTに関しては、今までに行ってきましたが、今後はさらに意図的に行っていきたい、最重要部門と位置づけ取り組んでいきたいと思っています。



やすらぎの杜では、これらの施設内・外の研修や個人による自己啓発によって、職員の質と支援の向上のために日々努力しています。私個人としても、レベルの向上に対してもっと貪欲に行きたいと思います。そして、研修担当としては、「全ての研修は利用者の皆さんのために繋がること」をスローガンに頑張っていきたいと思います。
研修担当：渡辺より